



2022年

プレゼミナールのご案内

2022年9月23日(祝)

8月17日(水) エントリー開始

プログラム

9:20~9:50 開会式・全体説明 (8:30~ 受付開始)

文系

10:15~14:30 (昼休み11:45~13:00)

セミナー1 (日本史学)

歴史学の素材

定員30名

セミナー2 (日本近代文学)

近代文学の始まりと終わり

定員30名

セミナー3 (ジェンダー研究)

「ジェンダー」について考える

定員30名

セミナー4 (生活経済学・生活経営学)

アンペイド・ワークと生活時間

定員30名

セミナー5 (教育心理学)

「やる気」の心理学

定員30名

理系

10:15~14:30 (昼休み11:45~13:00)

セミナーA (素粒子理論)

小さな素粒子、大きな宇宙

定員20名

セミナーB (有機化学)

匂いの不思議

定員20名

セミナーC (生命情報学)

SARS-CoV-2のゲノムをコンピュータで解析する

定員20名

セミナーD (情報科学)

入門! ゲームプログラミング

定員40名

セミナーE (食物栄養学・調理科学)

食べ物と調理 ~人エイクラを作ってみよう

定員なし

セミナーF (建築学)

共創工学への誘い

定員20名

※セミナーによって授業時間配分が多少異なる場合があります。

※総合型選抜(新フンボルト入試)文系学科受験者は、各セミナー終了後、レポートを作成します(14:45~15:45)。

※理系学科志望の総合型選抜(新フンボルト入試)受験者はプレゼミナールの受講は必須ではありません。理系学科の第1次選考は書面審査にて行われます。

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、プログラムの内容が変更になる可能性があります。

理学部生物学科 大学院生による研究ポスター発表/自主研究課題相談会 (14:45~16:45)

※新フンボルト入試受験者は「大学院生による研究ポスター発表」のみ参加できます(自主研究課題相談会は参加不可)。

附属図書館見学 (①14:45~15:45、②16:00~17:00)

附属図書館を見学できます。この企画への参加は任意です。

セミナー1 歴史学の素材（遠藤 みどり：日本史学）

定員30名

皆さんはこれまで学校の授業やテレビ・本など様々な媒体によって、何らかの歴史に触れてきたと思います。そこで語られた歴史は、すべて過去の人々が残してきた様々な記録や情報を素材として作られたものです。本セミナーでは、過去の人々がどんな記録をどのように残してきたのかを理解した上で、現代の情報化社会のなかで、私たちはこれからどんな記録をどのように残していくのか、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

セミナー2 近代文学の始まりと終わり（加藤 夢三：日本近代文学）

定員30名

今日、私たちが身近に慣れ親しんでいる物語作品の多くは、近代という新しい時代精神の下で生まれた、新しい表現ジャンルに属するものです。それは歴史的な構築物である以上、いつか・どこかで始まったものであり、またいつか・どこかで終わりを迎えるものでもあります。いま現在、すでに近代文学が「終わった」のかどうかは議論を呼ぶところですが、さしあたりその特質と意義を理解するために、本セミナーではそもそも近代文学とはどのような知的営みであったのかを皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

セミナー3 「ジェンダー」について考える（大橋 史恵：ジェンダー研究）

定員30名

高校生のみなさんにとって「ジェンダー」は聞き覚えのある用語なのではないかと思います。「ジェンダー平等」や「ジェンダーと多様性」といったトピックに興味がある人もいるかもしれません。しかしジェンダーという概念について解説するように求められたら、答えにくいと感じるのではないのでしょうか。この授業では私たちの社会のなかに埋め込まれ、私たちが日常的に実践している「知」のありかたを解きほぐしていくことで、ジェンダーについて考えていきます。

セミナー4 アンペイド・ワークと生活時間（斎藤 悦子：生活経済学・生活経営学）

定員30名

アンペイド・ワークと聞いて何を思い浮かべますか？お金の払われない仕事なんてやりたくない？私には関係のない労働？私たちの日常生活はアンペイド・ワークによっても支えられているのです。女性の多くが1日にたくさんの時間を費やしている生活に欠かすことのできないアンペイド・ワーク。その何が問題で、問題解決のためにはどのようなことが必要なのでしょう。生活経済学とジェンダーの視点から考えてみたいと思います。

セミナー5 「やる気」の心理学（伊藤 大幸：教育心理学）

定員30名

テストや受験が近づいているのに、なかなか学習への「やる気」が出ないという経験がある人も多いと思います。こうした何気ない心理現象の仕組みについて、実験、観察、調査などの方法でデータを収集し、科学的に検証するのが心理学という学問です。このセミナーでは「やる気」（動機づけ）に関する心理学の研究知見や理論を紹介するとともに、みなさん自身の「やる気」を高める方法について一緒に考えていきたいです。



附属図書館見学 ①14：45～15：45 ②16：00～17：00

希望者のみ

附属図書館を自由に見学できます。①は新フンボルト入試文系受験者以外（文理問わず）どなたでも参加できます。②は新フンボルト入試文系受験者のみ参加可能です。人数把握のため、事前の申し込みが必要です。

セミナーA 小さな素粒子、大きな宇宙（曹 基哲：素粒子理論）**定員20名**

我々は「宇宙」という大きな入れものの中に住んでいます。また、我々を細かく区切っていくとそれ以上分割できない「素粒子」になります。物体の運動を記述し、運動の起源、つまり物理法則の理解を目指すのが物理学ですが、我々がこれまで慣れ親しんできた物理法則はこのように日常から大きくかけ離れたスケール、極限の世界でも成り立つのでしょうか。このセミナーでは、皆さんを物理法則の限界とその向こう側へといざないます。

セミナーB 匂いの不思議（山田 眞二：有機化学）**定員20名**

身の周りには様々な匂いのするものがあります。花の香り、果物の香り、お菓子のような良い匂いのするもの、一方で嫌な匂いのするものもあります。私たちは、このような匂いをどのようにして感じているのでしょうか。そもそも匂いとは何でしょう。あまりに身近で普段考えないかもしれませんが、良く考えてみると不思議なことがいっぱい詰まっています。本セミナーでは香りを体験しつつ、化学の視点から匂いの不思議をひもときます。

セミナーC SARS-CoV-2のゲノムをコンピュータで解析する（由良 敬：生命情報学）**定員20名**

バイオテクノロジー、分子生物学、そして情報科学が協力することで、いろいろな生物の遺伝情報を明らかにできるようになりました。2019年から始まったCOVID-19でもその技術が発揮され、SARS-CoV-2のゲノムが明らかになり、どのようなタンパク質がコードされており、どのように変化しているのかがわかるようになりました。このセミナーでは、コンピュータを使ってSARS-CoV-2のゲノムやタンパク質の変化を見てみます。

セミナーD 入門！ ゲームプログラミング（浅井 健一：情報科学）**定員40名**

情報科学の考え方は、現代では読み書きそろばんと同様、全ての人が身につけるべき基本的な知識です。本セミナーでは、その情報科学的な考え方を簡単なゲームプログラミングを通して体験します。単に目の前に見えているゲームだけではなく、その奥に潜む情報科学的な考え方を感じ取れたら成功です。コンピュータの使用経験は仮定しません。情報科学の世界がどのようなものなのか、探究心とチャレンジ精神を持って受講してください。

セミナーE 食べ物と調理～人工イクラを作ってみよう（新田 陽子：食物栄養学・調理科学）**定員なし**

果汁などをゼリー状に固める際には、ゼラチンなどのゲル化剤を使用します。ゲル化剤は食感を制御しておいしさを向上させるだけでなく、嚥下困難者用の食事において誤嚥を防いで安全性を高めるために使用されます。寿司ネタとしてすでに出荷している人工イクラをご存じでしょうか。この人工イクラは、海藻由来のゲル化剤を使用して作られています。本セミナーでは、ゲル化剤の特徴の解説後、人工イクラの作成を体験してもらいます。

セミナーF 共創工学への誘い（長澤 夏子：建築学）**定員20名**

工学は、新しいものやサービスを創るため、科学の普遍性・客観性・論理性を武器に、技術を発展させてきました。これからの私たちの新しい社会や生活には、情報化社会・環境への対応・多様な人が暮らしやすい社会や環境など、多様な人と共に創ることが必要です。そのためには理工学の知識だけでなく、情報科学、芸術や人文科学の知識を融合し、新しい共創工学を考えます。その中心的な考え方は、共に創る設計（デザイン）手法で、今回は、身近な生活工学を題材として、共創工学のデザインプロセスをご紹介しますと思います。

理学部生物学科 大学院生による研究ポスター発表／自主研究課題相談会（14:45~16:45）**希望者のみ**

研究ポスター発表では、生物学科の大学院生が最新の研究成果をポスターで発表します。研究のまとめ方の参考になると思います。また、研究の進め方などについて大学院生と自由に話すことができます。相談会では、自主研究の課題の選定や研究の進め方などについて大学教員が相談にのります。生物学科の受験を考えている人のみを対象とします。応募時に相談内容の概要をお知らせください。

プレゼминаールのエントリー方法について

お茶の水女子大学プレゼминаールは、幅広い学問分野から多彩なプログラムを用意しています。また、お茶大の特徴である少人数教育の醍醐味を体感してもらうため、事前エントリー制を取ります。なお応募者多数の場合は、新フンボルト入試受験者が優先となりますことをあらかじめご了解ください。エントリー期間は、**8月17日(水)から9月2日(金) 17時まで**です(必着)。本学ホームページから専用の申込フォームによりお申し込みください。

セミナー内容をよく読んだ上で、受講を希望するセミナーを第1～第3希望まで選んで申し込んでください。なお応募者多数の場合には抽選になり、第2、第3希望のセミナーを受講する可能性があることをあらかじめご承知おきください。

※文系学科志望の新フンボルト入試受験者は、プレゼминаールへのエントリーと新フンボルト入試出願書類の提出(出願期間**9月1日(木)・9月2日(金)**)の両方を期限内に必ず行ってください。プレゼминаールには、なるべく出願に先行してエントリーしてください。(エントリー完了時に通知される申込者番号を控えておき、新フンボルト入試出願時に申込者番号と希望セミナーを入力してください。)

※文系学科志望の新フンボルト入試受験者は必ずいずれかのセミナーを受講できますが、非受験者は抽選の結果いずれのセミナーも受講できない可能性もあります。あらかじめご了承ください。

※非受験者は「理学部生物学科 大学院生による研究ポスター発表/自主研究課題相談会」のみの参加も可能です。

<申込フォーム>

下記のURL(またはQRコード)の「2022プレゼминаール・申込フォーム」から必要事項を入力し、申込みをお願いします。なお、この申込フォームで申し込みない場合には、下記アドミッション・オフィスまでお問い合わせください。

<https://www.ocans.jp/ocha?fid=HBnzWJYX>

※エントリーを受け付けたのち、アドミッション・オフィスから確認のメールを送ります。9月中旬までにセミナー受講決定についてメールでお知らせします。なお、ocha@ocans.jp および admissions@cc.ocha.ac.jp よりメールをお送りしますので、必ず、[@ocans.jp](mailto:ocha@ocans.jp) および [@cc.ocha.ac.jp](mailto:cc.ocha.ac.jp) からのメールを受信できるよう設定しておいてください。その後のご連絡も、主にメールで行います(新フンボルト入試受験者への入試に関する連絡は郵送にて行います)。



<注意>

※エントリー後、何らかの事情で受講できなくなった場合には、速やかに下記アドミッション・オフィスまでご連絡ください。

※プレゼминаールへのエントリーのためにご記入いただいた個人情報は、本学の入学志願者・受験者に関する情報と同様、適切に処理いたします。同個人情報は本学が管理し、プレゼминаールの運営および付随する業務を行うために必要な範囲内で利用します。(学生募集要項の関連する記載も参照。)お茶の水女子大学における個人情報の取扱いについては下記のとおりです。

<https://www.ocha.ac.jp/about/individual.html>

申込み期間	2022年8月17日(水)～9月2日(金) 17時
参加資格	本学での学びを志望する女子 (高校2・3年、性自認が女性であるトランスジェンダーの生徒を含む)



問い合わせ先

お茶の水女子大学 アドミッション・オフィス

MAIL admissions@cc.ocha.ac.jp

TEL 03-5978-2700 FAX 03-5978-2566

※アドミッション・オフィスのスタッフが不在の場合もあるため可能な限りメールでのお問い合わせをお願いいたします。